

# 令和4年度 第2回 大学院セミナー

令和4年4月8日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	神経機能学 分野 責任者名(篠原 一之) 内線(7035)
演題 Title	新しい医療と幹細胞の可能性 <b>再生医療</b> ～幹細胞研究に携わってきて～
講師等 Presenter	医療法人社団康梓会 Y's サイエンスクリニック広尾 長崎大学 客員准教授 林田 康隆
概要 Abstract	2019年に世界保健機関(WHO)から国際疾病分類第11版(ICD-11)が発効され、30年ぶりに改定されました。その中で老化関連が疾患コード XT9Tとして採用され、老化を疾患と捉えて、それに対する治療が話題になるようになりました。2020年にはエピジェネティック・クロックが提唱され若返りが制御できる可能性が示唆されるようになり、その中の一つに幹細胞に関しても言及されています。細胞の若返りとしては、山中教授のiPS細胞は一つの究極形とも言えますが、私が20年以上に渡り携わってきた体性幹細胞(組織幹細胞)は、実際に我々の体の中に存在して日々の生活を支えている細胞で、これらの幹細胞が老化と共に減少してくること、細胞同士のコミュニケーションが薄れてくることなども言われています。これからの新しい医療として、この幹細胞を使用した再生医療の可能性と現在の問題、そしてこれからのテーマについて私なりの考えを述べたいと思います。
開催日時 Date and Time	令和4年4月12日(火) 12:30～13:30
開催方法 Online/Face to face	視聴覚セミナー室 1
備考 Notes	

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)